

2023年3月

(公財) 日本城郭協会 2023年度事業計画

1. 「会員増強計画」—会員増強への取り組み強化・推進—

会員の増強は、協会の事業や活動を支えるための協会運営の最重要活動である。対2022年度比会員数の10%増員を目標に会員増強を行う。

また、既存会員の満足度向上のために、一般会員との交流を目的とした会員交流会等の企画・開催を積極的に行う他、法人会員・城郭会員向けの情報提供や各種催事などの開催を通じて各城郭との連携強化につとめる。

また、安定した協会事業推進のために、協会運営資金として収入の安定確保を行う。

2. 「日本城郭協会大賞」の主催

城郭文化のさらなる振興のために『日本城郭協会大賞』を継続して主催する。本事業の認知向上のためのPRを活性化させる。受賞者の「お城 EXPO」における記念講演等については、認知度向上の一環として継続する。事業の継続性を担保するために計画的な財源確保を行う。

3. 「日本100名城スタンプラリー」・「続日本100名城スタンプラリー」の運営・PR強化

「日本100名城スタンプラリー」・「続日本100名城スタンプラリー」については、2023年度も引き続き各城郭と緊密に連携しながら推進する。

様々な機会をとらえて「日本100名城・続日本100名城スタンプラリー」のPRを実施することで、スタンプラリー参加者のさらなる増加を図る。

4. 「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」の継続開催

教育事業である「城の自由研究コンテスト」と「親子名城見学会」を継続実施する。

「城の自由研究コンテスト」については社会的認知度のさらなる向上を図るために「お城 EXPO」における作品展示と表彰式を継続する。

「親子名城見学会」は、全国的な展開を図ることでより全国的な参加者を確保し、地元の城郭と当協会の認知度の向上を図る。

5. 「お城 EXPO2023」の開催

城郭文化の認知度向上を目的とする「お城 EXPO」は、日本最大級の城イベントとして注目度も高く、7回の開催となった。第8回となる2023年度も、引き続き当協会の各事業との連動も視野に入れて主催実行委員会に主導的立場で参加する。

また、姫路で開催される「お城 EXPO 特別版」を始めとする、各地で開催される「出張!お城 EXPO」にも積極的に参画し、城文化の全国的な伝播と地方の城郭愛好家への当協会のPRと入会促進を行う。

6. 「日本城郭検定」の開催

2023年度の日本城郭検定は、オンライン検定を活用しながら引き続き年2回の開催を行い、遠隔地の受験者の拡大に努め、参加者の拡大を図る。また、4年間発行していなかった過去問題集の改訂新版の発行を推進する。

7. [会報・HP]等広報活動強化

当協会の公益事業活動を広く社会に周知させるとともに、会員への情報サービス機能や新会員加入促進を目的に、会報「城郭ニュース」の発行・配布を継続する。

ホームページについては、作成後5年が経過しており、掲載内容の見直しを行いリニューアルに向けた検討を開始する。SNSについては、会員・その他の城郭愛好家向けに、城郭会員を中心とした各城郭から提供された情報などを適時掲載・リツイートを行う。

協会公認サイト「城びと」との連携や、各自治体等からの講師派遣対応など城ブームの興隆に寄与する。

また、ニュースリリース配信サービスの活用により、より広範囲な周知を目指す。

8. 出版活動

当協会の認知度向上・城郭文化振興のために各種出版・制作物の企画を推進する。

好評を博している「城カード」については各城郭からの発行希望に基づき、企画監修・発行を推進する他、かねて要望が多かった「日本城郭検定過去問題集」の更新版の発行など、各出版社等と連携して出版活動を展開する。

9. 「ヨーロッパ100名城」のリニューアル推進

2011年に選定した「ヨーロッパ100名城」について、「お城EXPO」における展示を活用しながら、数年後のガイドブックのリニューアルを目標に、各国大使館等の協力を得てコンテンツの更新作業を推進する。

10. 「学術委員会の活動強化及び学術委員」の拡充

学術委員会の活動については、マスコミ等からの問い合わせ対応を行う事務局からの相談対応や会報への寄稿、「お城EXPO」などの講演、「日本城郭協会大賞」の審査員など協会が主催・参画する催事への参加などを中心に、引き続き活動の活性化を目指す。

また、新任委員の就任を促し、委員会の拡充を図る。

11. 「当協会資産」の整理・活用

当協会の資産である井上宗和氏の研究資料等の整理を継続する。